

しろね施設きゅうり持続農業協議会（新潟県新潟市）

R5補正
R6当初

33

背景・課題

新潟市南区（旧白根市鷺巻・大郷地区）は、きゅうりの県内出荷額の約4割を占める産地である。

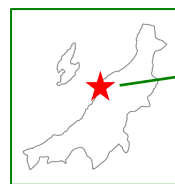
古くからの産地のため、化学農薬の連用による防除効果の低減や肥料の蓄積等による収量・品質の低下が散見され、その解決及びグリーンな栽培体系による産地ブランドの確立を目指している。

成果目標

- ナノバブル水を使用した防除技術や、JAオリジナルの混合堆肥複合肥料使用による施肥体系の検証を行い、化学農薬使用回数20%減・農薬散布量10%減。
- 産地面積6.2haのうち、令和11年度までにグリーンな栽培体系の取組面積を（現状）2.0ha→4.0haとする。

主な取組内容

- 土壌調査や病虫害発生予察調査など従来の対策を強化
- 環境モニタリングを導入し、ハウス内環境と病虫害発生の関連を検証
- 化学肥料と化学農薬を節減するため「抵抗性品種」を導入
- 地域内畜産法人との連携によるペレット肥料の導入
- 新たな仕立て（吊り下げ栽培）の試験実証



新潟市

構 成 員

新潟県、新潟市、JA新潟かがやき、資材メーカー、肥料メーカー、農薬メーカー、農業者

品 目

きゅうり（施設）



アグリログ



園芸参入塾

塾長のモニタリングデータを見ながら栽培のノウハウを学び、産地の若手を育成

普及に向けた取組

- モニタリングデータの検証による良好なハウス内環境や、試験実証により得られた化学肥料・農薬を減じる体系を、より数値化した形で「栽培マニュアル」に反映し、グリーンな栽培体系を産地全体へ広める。
- 先進地視察を随時行い、得られた知見を産地で実証するなど、新たな取組を継続する。

問い合わせ先

しろね施設きゅうり持続農業協議会 事務局

JA新潟かがやき・しろね北アグリセンターTEL：025-362-1362